

(1) 総括

平成30年度は、第5次鶴ヶ島市総合計画・後期基本計画の3年度目にあたり、総合計画に掲げる市の将来像である「鶴ヶ島は 元気にする～明日につながる活力のまち 支えあう安心のまち～」の実現に向け、各施策の目標達成のため、取組を大きく前進させる重要な年度であり、将来の鶴ヶ島市の発展に不可欠な子育て世代が元気に生活できるまちづくりの実現に向けた取組に重点を置いて予算編成を行いました。

歳入では、繰入金や寄附金、株式等譲渡所得割交付金などが減額になったものの、市税は6年連続して増額になったほか、市債や繰越金、地方消費税交付金などが増額となり、歳入総額は6億3,883万7,870円、3.0%の増額となりました。

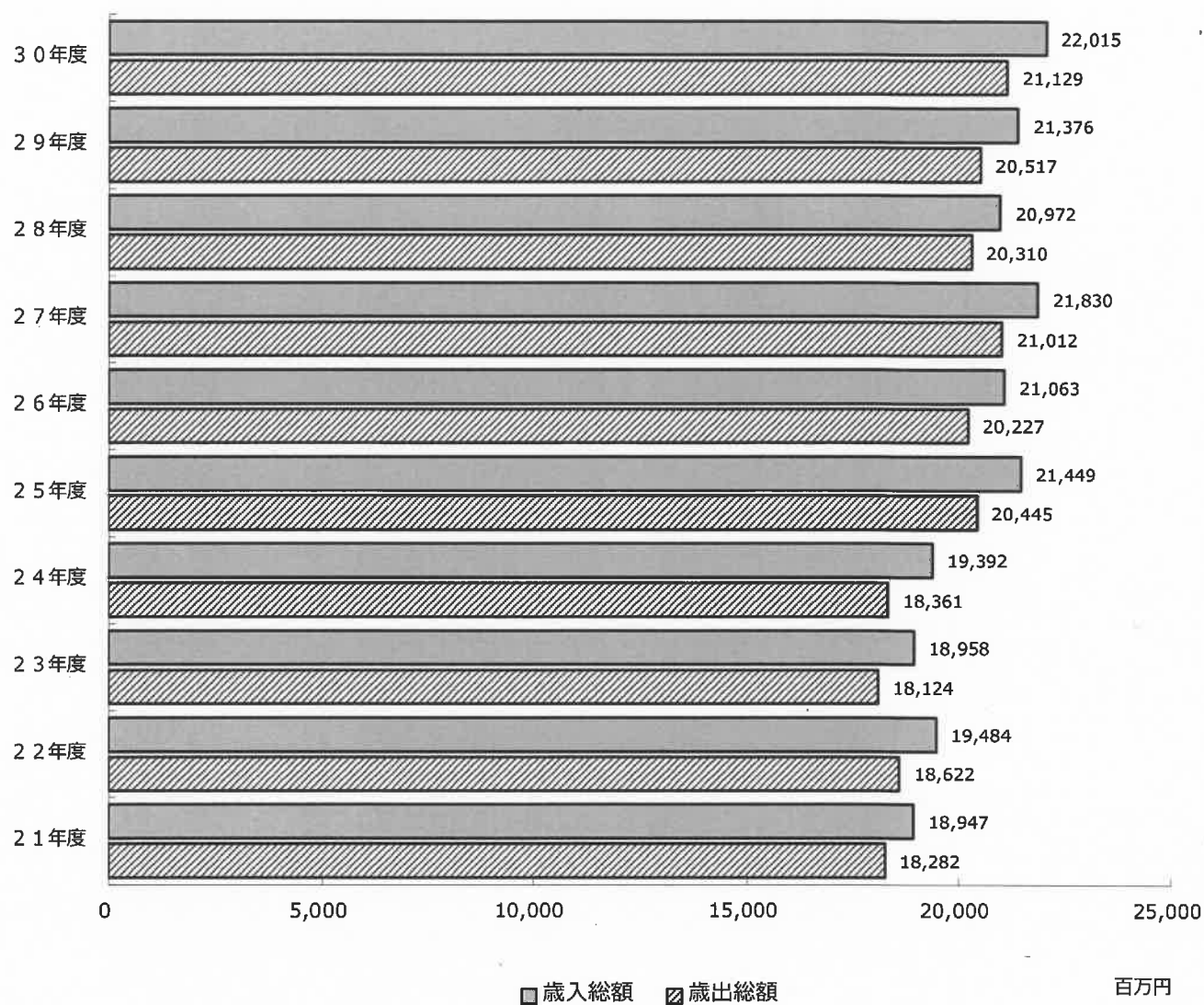
歳出では、一本松土地区画整理事業特別会計繰出金や民間保育所整備支援事業、小学校トイレ改修事業（工事）などが減になったものの、公共施設保全基金積立金や都市施設整備基金積立金、小学校トイレ改修事業（工事）（繰越明許費分）などが増となり、歳出総額も6億1,166万5,904円、3.0%の増額で、歳入歳出ともに前年度を上回りました。

(2) 決算規模

(単位 円)

一般会計	平成30年度 決算規模	平成29年度 決算規模	増 減 額	増減率
予算現額 (A)	21,834,756,000	21,495,085,000	339,671,000	1.6 %
歳入総額 (B)	22,014,523,768	21,375,685,898	638,837,870	3.0 %
歳出総額 (C)	21,129,118,573	20,517,452,669	611,665,904	3.0 %
歳入歳出差引額 (B) - (C) (D)	885,405,195	858,233,229	27,171,966	3.2 %
翌年度に繰り越すべき財源 (E)	58,411,000	104,468,000	△ 46,057,000	△ 44.1 %
実質収支 (D) - (E) (F)	826,994,195	753,765,229	73,228,966	9.7 %
前年度実質収支 (G)	753,765,229	646,640,286	107,124,943	16.6 %
単年度収支 (F) - (G) (H)	73,228,966	107,124,943	△ 33,895,977	
積立金 (I)	510,407,000	434,211,000	76,196,000	17.5 %
繰上償還金 (J)	0	0	0	0.0 %
積立金取崩し額 (K)	519,720,000	562,550,000	△ 42,830,000	△ 7.6 %
実質単年度収支 (H)+(I)+(J)-(K) (L)	63,915,966	△ 21,214,057	85,130,023	

一般会計決算規模の推移



【一般会計の主な増減要因】

増要因

- 公共施設保全基金積立金
- 都市施設整備基金積立金
- 小学校トイレ改修事業（工事）（繰越明許費分）

減要因

- 一本松土地区画整理事業特別会計繰出金
- 民間保育所整備支援事業
- 小学校トイレ改修事業（工事）